

京都市放課後対策事業検討委員会

会 議 次 第

- 1 日時 平成21年1月22日(木)午前10時～
- 2 場所 京都市教育相談総合センター(こどもパトナ) 1階会議室
- 3 次第
 - (1)開会
 - (2)平成20年度実施状況について
 - (3)今後の放課後対策事業の展開について
 - (4)その他
 - (5)閉会

資料 1

放課後まなび教室 実施状況一覧（平成20年12月31日現在，実施115校区）

< 19年度開設 50校区 >

< 20年度開設 65校区 >

支部	校 区	日数	対象児童	登録児童				
				4年	5年	6年	計	率
北上	鳳徳	4	137	5	6	3	14	10.2
	紫竹	5	134	9	7	6	22	16.4
	鷹峯	3	113	13	1	3	17	15.0
北下	栗只	3	34	4	1	1	6	17.6
上京	西陣中央	5	274	28	15	9	52	19.0
	正親	5	80	2	15		17	21.3
中京	朱雀第八	5	226	41	35	4	80	35.4
下京	西大路	3	68	9	13	4	26	38.2
南	陶化	3	93	6	11	8	25	26.9
	山王	3	61	8	4	3	15	24.6
	吉祥院	5	252	31	24	7	62	24.6
	上鳥羽	3	170	5	2	4	11	6.5
	大敷	3	243	9	24	1	34	14.0
左北	八瀬	4	30	6	5	1	12	40.0
	大原	4	29	7	4	6	17	58.6
左南	第四錦林	5	159	10	13	12	35	22.0
	養正	3	99	8	2	6	16	16.2
	養徳	3	196	11		5	16	8.2
	下鴨	5	185	14	5	6	25	13.5
	修学院	5	347	27	18	3	48	13.8
東山	今熊野	5	106	4	8	11	23	21.7
山科	西野	3	125	12	8	21	41	32.8
	勤修	5	362	17	17		34	9.4
	百々	4	323	9	3		12	3.7
右北	嵯峨	5	290	17	10	8	35	12.1
	常磐野	5	355	9	3	5	17	4.8
	嵯峨野	3	387	23	22	2	47	12.1
	御室	5	210	13	26	9	48	22.9
	宇多野	5	221	14	12	1	27	12.2
	花園	3	152	25	6	1	32	21.1
右南	太秦	5	505	7	15	3	25	5.0
	南太秦	3	185	11	7	1	19	10.3
	安井	5	174	14	17	15	46	26.4
	西京極	5	346	36	28	13	77	22.3
	西京極西	5	118	19	9	9	37	31.4
西東	川岡	4	308	8	9	3	20	6.5
西西	竹の里	5	110	19	2	4	25	22.7
	福西	5	169	12	12	11	35	20.7
伏中	藤ノ森	5	326	9	4	2	15	4.6
	砂川	5	239	8	13	12	33	13.8
	竹田	3	174	11	5	2	18	10.3
伏東	春日野	3	194	12	2	3	17	8.8
	醍醐西	3	185	8	12		20	10.8
	北醍醐	5	84	6	5	17	28	33.3
伏西	伏見板橋	4	250	13	8	17	38	15.2
	下鳥羽	3	272	7	5	5	17	6.3
	納所	3	183	12	8	6	26	14.2
	向島藤の木	5	184	7	14	2	23	12.5
	向島南	5	234	9	6	2	17	7.3
	二の丸北	5	58	9	5	1	15	25.9
小 計			9759	633	506	278	1417	14.5

支部	校 区	日数	対象児童	登録児童				
				4年	5年	6年	計	率
北上	上賀茂	3	281	11	11	3	25	8.9
	大宮	3	420	4	8	9	21	5.0
北下	紫野	3	156	15	8	10	33	21.2
	金閣	3	380	13	10	8	31	8.2
上京	乾隆	3	119	8			8	6.7
	翔鸞	3	135	4	7		11	8.1
	仁和	3	221	9	8	13	30	13.6
	二条城北	4	237	12	8	4	24	10.1
	御所南	3	476	21	20	7	48	10.1
中京	高倉	3	268	16	13	7	36	13.4
	朱雀第一	3	271	13	4	3	20	7.4
下京	朱雀第二	3	121	9	11	3	23	19.0
	洛央	3	261	7	9	5	21	8.0
	六条院	3	61	7	2		9	14.8
	光徳	3	164	13	7	1	21	12.8
	七条	3	160	3	7	1	11	6.9
南	九条弘道	3	96	1	8	4	13	13.5
	唐橋	3	247	8	10	1	19	7.7
	東和	3	170	9	5	1	15	8.8
	祥栄	3	191	7	14	8	29	15.2
	久世西	3	324	16	11	13	40	12.3
左北	明德	3	281	7	4	2	13	4.6
	市原野	3	169	4	6	1	11	6.5
	静原	3	14		3	3	6	42.9
左南	鞍馬	4	20	8	5	7	20	100.0
	第三錦林	3	138	3	3	1	7	5.1
東山	新洞	3	39	3	8	2	13	33.3
	松ヶ崎	3	196	9	2	6	17	8.7
	一橋	5	65	14	4	2	20	30.8
山科	月輪	5	95	14	7	1	22	23.2
	山階	3	156	10	1	3	14	9.0
	安朱	3	113	6	1	1	8	7.1
	鏡山	3	312	11		5	16	5.1
	陵ヶ岡	5	205	18	3		21	10.2
右北	音羽川	3	236	2	5	7	14	5.9
	大塚	3	379	3	2	2	7	1.8
	小野	3	325	4	3		7	2.2
	広沢	4	237	4	10	7	21	8.9
	嵐山	3	243	14	4	2	20	8.2
右南	京北第二	3	41	8	17	16	41	100.0
	梅津	3	246	8	6		14	5.7
	梅津北	3	217	17	12	9	38	17.5
西東	葛野	3	284	8	10	7	25	8.8
	川岡東	3	267	3	16		19	7.1
	松尾	3	469	5	7	6	18	3.8
西西	桂川	3	413	2	4		6	1.5
	新林	3	246	22	3	6	31	12.6
	上里	3	164	16	16	4	36	22.0
伏中	大原野	3	143	9	7	10	26	18.2
	深草	3	431	20	9	4	33	7.7
	藤城	5	173	6	1	5	12	6.9
	桃山	3	294	15	2	2	19	6.5
	桃山南	3	214	4	3	2	9	4.2
伏東	醍醐	3	217	14	7	1	22	10.1
	小栗栖	3	84	9	14	9	32	38.1
	小栗栖宮山	3	191	5	5	2	12	6.3
	日野	3	259	17	1		18	6.9
	伏見南浜	3	298	4	3		7	2.3
伏西	伏見住吉	3	237	23	2		25	10.5
	横大路	3	97	9	7	1	17	17.5
	向島	3	153	7	8		15	9.8
	神川	3	383	11	11	6	28	7.3
	久我の杜	5	359	33	21	5	59	16.4
	明親	3	259	20	9	4	33	12.7
	美豆	3	245	11	4	11	26	10.6
小 計			14366	646	457	263	1366	9.5
合 計			24125	1279	963	541	2783	11.5

資料 2

放課後まなび教室 対象児童拡大の試行実施について

< 登録状況 >

支部	校 区	日数	対象児童	登録児童				
				1年	2年	3年	計	率
下京	六条院	3	59	0	2	2	4	6.8
南	九条弘道	3	98	3	9	3	15	15.3
左京北	大原	4	29	7	6	10	23	79.3
	静原	3	9	7	1	0	8	88.9
	鞍馬	3	5	1	0	4	5	100.0
左京南	第三錦林	3	134	0	1	1	2	1.5
	新洞	3	33	5	9	7	21	63.6
東山	一橋	5	65	1	2	0	3	4.6
右京北	嵯峨	5	257	30	8	10	48	18.7
	京北第二	3	29	2	3	12	17	58.6
伏見東	北醍醐	5	91	15	11	5	31	34.1
伏見西	二の丸北	5	41	8	4	2	14	34.1
合 計			850	79	56	56	191	22.5

- 登録率は、高学年児童に比べて高くなっている。とくに、小規模校区や山間部の校区では1/3以上の低学年児童が登録している。
- 学童クラブ事業に参加している児童が放課後まなび教室にも登録するようになった例もわずかながらあるが、学童クラブの登録児童数に大きな影響は見られない。

< 実施状況 >

- 基本的には、高学年と同様、宿題や予習復習、読書等の「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」としての活動を進めている。
- 高学年児童に比べて、自主学習すべき内容や、学習に要する時間が少ないため、参加者の興味や関心を持続させるべく、教材や学習終了後の活動内容、子どもへの関わり方等に工夫をこらしている。
- 以下の理由により、低学年児童と高学年児童とで時間帯や活動場所を分けて実施している教室もある。
 - ・授業の終了時刻が高学年児童よりも早い。
 - ・登録・参加児童数が増加し、活動場所の確保が厳しくなっている。
 - ・児童の発達段階に応じた取組・対応が必要である。
- 全学年で同一時間帯に同じ場所で実施している教室では、高学年児童が低学年児童に勉強を教える姿が見られるなど、より幅広い異年齢間の交流が進んでいる。

< 今後に向けて >

- 児童の発達段階に応じた、よりきめ細かな対応や、児童が継続して参加できるような工夫が必要となる。
- 登録・参加児童数の増大が想定されるため、スタッフや活動場所のさらなる確保が必要となる。
- 個々の児童が、それぞれの家庭環境やニーズに合った事業に参加できるよう、保護者や地域に対し、放課後まなび教室と学童クラブ事業それぞれの趣旨・内容をより一層周知し、理解を求めていく必要がある。
- 地域や小学校区の状況に応じて、放課後まなび教室の取組内容のより一層の充実を進めていく必要がある。

資料3

「児童館・学童保育所」と「放課後まなび教室」との連携について

< 協議の場 >

- 協議の場を立ち上げている校区：20校区（平成21年1月16日現在）

（ 児童館が学校敷地内又は近接している：8校区
児童館が校区内に設置されているが、小学校から離れている：10校区
児童館が校区内に設置されていない：2校区 ）

- 参加者：児童館長と放課後まなび教室実行委員長，校長等

< 主な連携の計画内容 >

- まなび教室登録児童が，児童館・学童保育所の行事（野外活動，児童館まつり，クリスマス会，映画会，工作・切り絵教室等）に参加する。
- 両事業で共同事業を実施する。
- 学童クラブ登録児童について，放課後まなび教室で自習した後に学童クラブが利用できるようにすることにより，多様な放課後の過ごし方を提供する。
- 安全対策に連携して取り組む。
- 健康状態等，児童の状況について情報共有を図る。

など

< 実践例 >

- 1 常磐野児童館と常磐野小学校放課後まなび教室の「コラボ事業」（共同事業）
 - 「コーヒーサロン」
小学校家庭科室にて，地域の方の指導のもと，豆のひき方やおいしいコーヒーの入れ方を教えてもらう。
 - 「筆を使って書こう」
放課後まなび教室専用室において，プロの書道家の指導のもと，毛筆に親しむ。
 - 常磐野児童館納涼祭に，放課後まなび教室が参加（輪投げのブース出展）
など
- 2 東福寺児童館と月輪小学校放課後まなび教室の取組
 - 「おり紙教室」
東福寺児童館において，放課後まなび教室スタッフの指導のもと，折り紙をつくる。